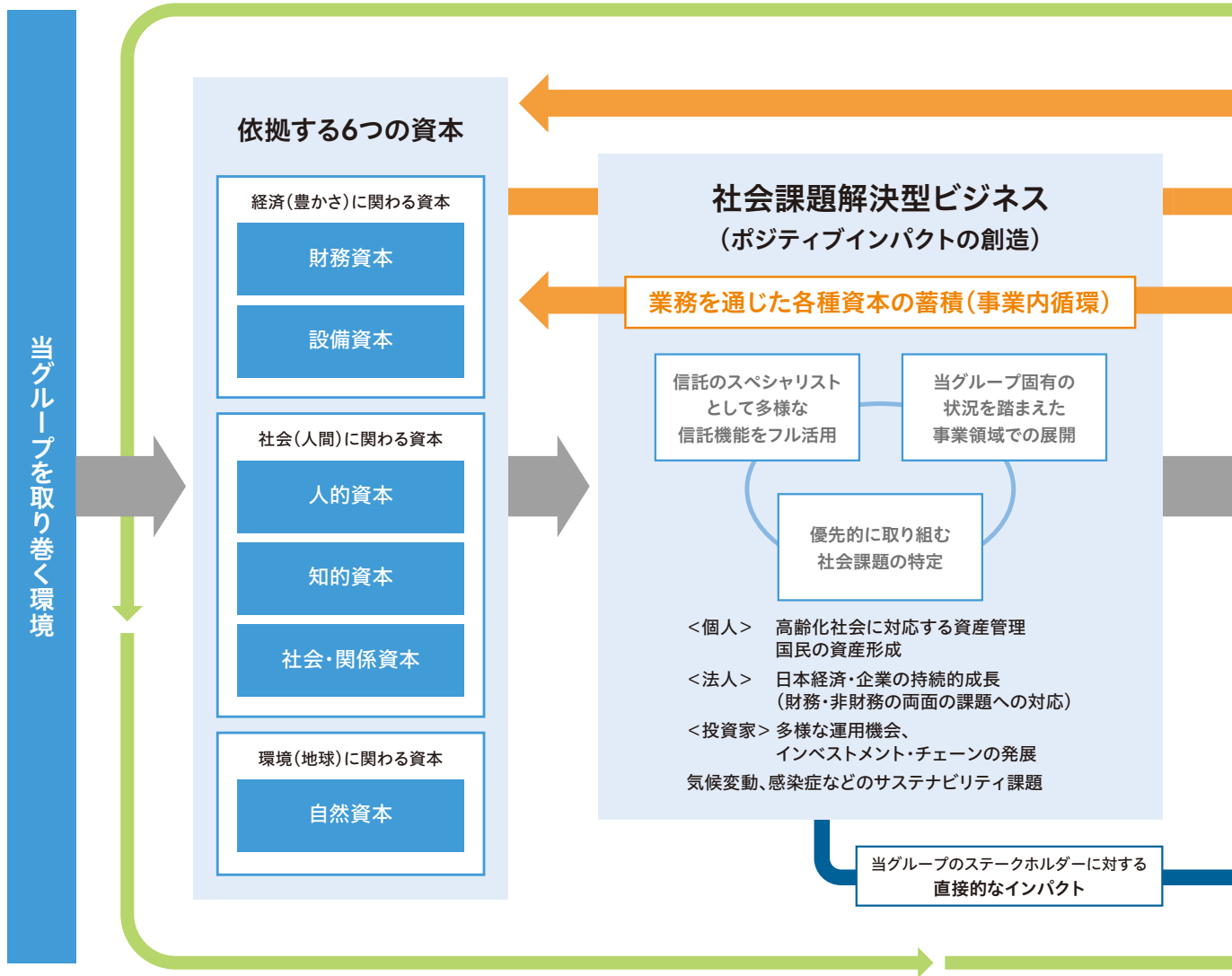
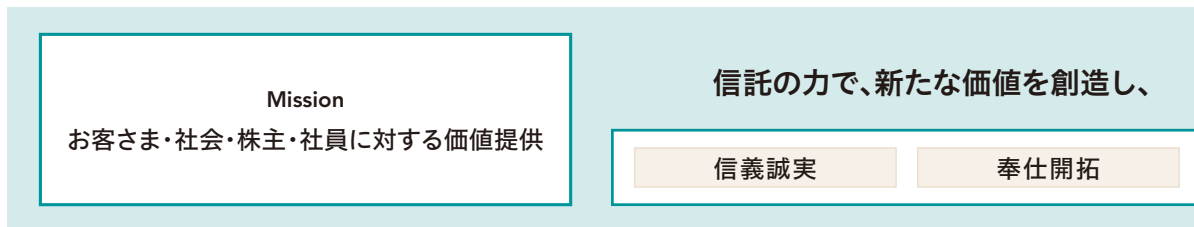


# 社会的価値創出と経済的価値創出を 両立させる価値創造プロセス



当グループのステークホルダーに対する直接的なインパクト

社会的価値創出と経済的価値創出を両立させるには、存在意義(パーパス)に基づきステークホルダーの価値を最大化させながらポジティブインパクトを創造するプロセスと、当社自身の財務・非財務の経営基盤(6つの資本)を持続的に強化していくプロセスを有機的に結合するとともに、それを経営レベルで適切に管理する仕組みの構築が必要です。当社は、この仕組みを「価値創造プロセス」として整理しています。当グループは、中長期的な価値創造プロセスに影響を与える重要課題(マテリアリティ)を特定していますが、企業活動が経済、社会、環境に影響(ポジティブインパクト/ネガティブインパクト)を与える項目を「インパクトマテリアリティ」、価値創造の根幹に影響を与える項目を「ガバナンス・経営基盤マテリアリティ」、財務パフォーマンスに直接影響を与える項目を「財務マテリアリティ」として3つに区分し、リスクアペタイト・フレームワーク(RAF)の中で適切に管理するマテリアリティ・マネジメントを実践しています。

Purpose  
お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる

Value  
信頼創造      自助自律

Vision  
「The Trust Bank」の実現

外部経済の内部化などを通じた各種資本への転換(事業外循環)

各ステークホルダーの  
価値の最大化

お客さま

事業パートナー

株主・投資家

社員

コミュニティ  
(地域社会、NPO)

公的セクター  
(行政、国際機関)

さまざまな  
インパクト経路

ステークホルダーの先に対する  
間接的なインパクト

社会的価値の創出

SDGs実現  
への貢献



経済  
豊かさの向上

社会  
(人間)  
Well-beingの  
向上

環境  
(地球)  
自然資本の維持

モニタリング

リスクアペタイト・フレームワーク(RAF)

マテリアリティ・マネジメント

(資本循環の促進要因・阻害要因)